

平成28年度まち・ひと・しごと創生基金事業(29事業)の外部評価結果について

No.	事業名	外部評価における評価	委員の意見・コメント
1	きたかたの“農”を支える担い手支援事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 11人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・平成30年度予算額について、ニーズに基づいた予算額とすべき。(これまでの予算額1,000万円は大まかすぎると感じる。)
2	元気な森林(もり)づくり推進事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 12人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・30年度の方針として、「新たな箇所で策定するよう事業者への働きかけを行う」について、具体的に提示していただきたい。
3	新工業団地整備事業	【事業の拡充が必要】 2人 【事業の継続実施が必要】 7人 【事業内容の見直しが必要】 3人	・誘致企業のターゲット、誘致の見込、費用対効果について明確にすべきである。 ・企業誘致する上でのメリットなどPRする際の強みになるものの検討が必要である。 ・雇用創出・人口増(若者増)のためをお願いしたい。 ・企業誘致は、喜多方の場合、交通網の関係からも容易ではない。土地整備・造成に一層の推進を期待して、効果を待ちたい。
4	移転企業等操業支援事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 7人 【事業内容の見直しが必要】 5人	・事業周知の徹底と賃貸借物件の取扱件数の増加が必要であると考え。 ・事業内容と工場を求める側のミスマッチがあると思われるのでPRの方法や支援内容そのものを見直すべきと考える。 ・空き工場自体が少ないのであれば、この事業の必要性について検討すべきである。 ・企業誘致は、喜多方の場合、交通網の関係からも容易ではない。人口も少なく、企業誘致の成功は困難であろう。市内全体を魅力的に街づくりをしていく必要がある。 ・企業誘致は工場賃借希望者の条件に見合うかどうかという大きな課題があるので、継続実施で長期に見ていく必要があると思う。
5	創業スタートアップ支援事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 11人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・創業者(希望者)を大幅に増やす施策・PRが必要である。 ・空き店舗活用の需要が上がるためにどうすべきか広く検討すべき。
6	あきない後継者育成確保事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・あきない後継者の確保は重要である。都会(他都市)での定年退職者の呼び込み等、若者だけを対象とすることなく、広く検討すべきである。 ・後継者を探す取組、市内の高齢経営者と新規創業者の接点を持つ取組などに内容をシフトしてはどうか。

No.	事業名	外部評価における評価	委員の意見・コメント
7	子育て世帯向け定住促進住宅等整備計画策定事業	事業完了	・事業へのスピード感・集中力が必要と思われる。 ・新たな関連事業の策定をお願いしたい。 ・若者の流出を防ぐためにも早期の着工を望む。 ・本事業の遅れの原因を分析し、具体的に計画を練り直すことがポイントとなる。 ・アンケートの集計から、意見を取り入れたり今後の活動はしないのでしょうか。 ・この計画に基づき、子育て世帯が市内に定住しやすい街づくりを行っていただきたい。
8	看護職就学・就労支援事業	【事業の拡充が必要】 3人 【事業の継続実施が必要】 7人 【事業内容の見直しが必要】 2人	・今後も医師会や関係機関と連携して事業周知を行い、1人でも多く就職者が増えるような働きかけが必要である。 ・地元医療機関への就労者をより増加させ、地域医療の安定のため拡充すべきと考える。 ・計画より遅れているのは、残念であるが、看護人材の確保と質の向上は重要であり、現在の在学生在にさらなる研修の機会を与えて、視野を広くしてやる必要がある。福島県医療福祉関連教育施設協議会(郡山から発信)との連携を付けて、推進してあげたいと考えている。 ・費用対効果の高い取組と考えられるため、予算を拡充し、支援できる人数を増やすべきである。 ・市内医療機関において人手不足になっているのか疑問なので、空きがないところにアプローチしても仕方ないのではないのか。
9	「住むなら喜多方！」若者定住促進事業	【事業の拡充が必要】 3人 【事業の継続実施が必要】 8人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・移住定住、仕事を支援する他事業(創業スタートアップ支援事業、あきない後継者育成確保事業、喜多方田舎暮らし支援事業、喜多方市少子化対策結婚支援事業等)との連携について検討を行ったかどうか。 ・可能な限り市外からの転入者対策を強化すべき。 ・費用対効果が不明(費用対効果が低いのではないか。) ・さらなる拡充のために予算額の見直しをするべきである。
10	奨学金償還支援事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 12人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・支援対象人数を増加する手法が求められる。
11	“来て 見て 触れて”きたかた農業研修・生活体験事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 9人 【事業内容の見直しが必要】 2人	・今までの実績から研修の時期や内容、参加予定人数等の見直しが必要と考える。
12	喜多方田舎暮らし支援事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 11人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・事業とKPIの繋がりが不明確。

No.	事業名	外部評価における評価	委員の意見・コメント
13	三ノ倉高原花畑事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 2人	・花畑の価値の更なる向上について検討していただきたい。 ・来場者の増加と併せて市内を回遊する施策が必要である。 ・全国紙(週刊誌)にも紹介されており、手入りを完璧にして、花畑の価値をさらに高めていくことが望ましい。 ・花、畑の管理にシルバー人材を活用してみたらいいか。 ・より多くの観光客が見込める事業と期待している。
14	阿賀川旧河道魅力創造事業	事業完了	・旧河道の活用に期待する。 ・大規模事業となることから慎重に推進すべき。
15	喜多方市少子化対策結婚支援事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 8人 【事業内容の見直しが必要】 4人	・市内での取組はもちろんですが、”お見合い大作戦”のようなメディアも使った取組も検討していただきたい。(市のPRにもつながる。) ・「世話やき人」を増やすなどの見直しが必要ではないか。 ・効果的な他の手法について検討すべきではないか。
16	子ども総合相談事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 2人	特になし
17	屋内子ども遊び場・子育て世代交流拠点づくり推進調査事業	事業完了	・大いに充実させるべき。郡山を参考にして「子ども館」といった建物を造るべきである。上階には、子ども・青年に関する人材オフィス(組織)を設置すべきである。 ・子育て世代の意見を汲んで、よりよい遊び場づくりを期待する。 ・必ずしも屋内施設にこだわらなくて良くなったと思うので、『完了』で特に異論なし。 ・会津にない施設であり、流入効果も期待されることから早期の整備を望む。 ・①新しい事業を構築、②「商業高校」及び「県立病院跡地」の利活用を早急にまとめること。 ・保護者が子育てし易い場所として医療機関を求めているのであれば、医療機関(産科等)を拡充する方向にシフトすべき。
18	きたかた喜楽里パークプラン事業	【事業の拡充が必要】 3人 【事業の継続実施が必要】 9人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・市内の都市公園をさらに整備すべきであるので、拡充を期待したい。 ・財源についての確保を最優先に拡充すべきである。 ・雑草の除去、樹木の剪定の実施。水場、電灯、トイレの設置。ゴミ置き場にしないため、市民への啓発事業。災害時の避難場所としても整備が必要であると考え。 ・公園についての要望を多く聞く。安全・安心な遊具の整備は、ぜひとも迅速にお願いしたい。 ・遊びに行っても、使用禁止の遊具があるのはもったいない。子どもは外遊びが大好きなので、財源確保をお願いしたい。 ・スポーツ庁が2016年度の体力・運動能力調査結果を公表した。幼児期の外遊びが、入学後の体力や運動習慣、体力向上に大きく影響するので、子どもたちが講演で体を使った遊びを存分に楽しめるよう、財源を確保し、計画に基づいて、目標達成に努めていただきたい。

No.	事業名	外部評価における評価	委員の意見・コメント
19	ワーク・ライフ・バランス推進事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 9人 【事業内容の見直しが必要】 2人	・広報活動の強化が必要であると考ええる。 ・啓発活動が中心であり、各企業の対応が問われることである。
20	ファミリーサポートセンター利用者助成事業	【事業の拡充が必要】 2人 【事業の継続実施が必要】 9人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・利用料金の補助を増額すべきと考える。 ・提供会員の公募を強力に進めるべきである。 ・予算が少ないと感じる。
21	多子世帯保育料軽減事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 12人 【事業内容の見直しが必要】 0人	特になし
22	出産・育児のための離職者への支援事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 2人	・離職者に対するPR方法の見直し検討が必要である。
23	喜多方市地域・家庭医療センター家庭医養成機能強化事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・この事業費で目的が達成できるのか疑問である。 ・研修医の受け入れよりも、質の向上もお願いしたい。
24	空き家対策事業	【事業の拡充が必要】 2人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 0人	・不動産業界からの情報収集なども活用すべき。
25	かかりつけ医による家庭内血圧見守り(在宅医療支援)事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 12人 【事業内容の見直しが必要】 0人	特になし
26	若者の若者による若者のための自分磨き事業	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 10人 【事業内容の見直しが必要】 1人	特になし
27	きたかた定住自立圏域づくり推進事業	【事業の拡充が必要】 0人 【事業の継続実施が必要】 11人 【事業内容の見直しが必要】 0人	特になし

No.	事業名	外部評価における評価	委員の意見・コメント
28	未利用地等を活用した人材育成拠点推進事業	事業完了	・県との交渉、調整と継続し、土地活用により、地域活性化につなげていただきたい。 ・基本構想に基づき、早期の事業化に努めていただきたい。 ・県立病院跡地利用についても、検討結果を早く公にし、結論を早く出して欲しい。
29	介護職員養成・就労定着化事業(介護パワーアップ事業)	【事業の拡充が必要】 1人 【事業の継続実施が必要】 9人 【事業内容の見直しが必要】 1人	・介護職員の増加に繋がっていないことから、事業内容の見直しが必要ではないか。